

令和6年逗子市教育委員会1月定例会会議日程

令和6年1月24日（水）

午後2時30分

逗子市役所5階第3会議室

日程第1 11月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第1号 教育委員会職員の人事について

日程第4 報告第2号 逗子市文化財保護委員会の答申について

日程第5 議案第1号 逗子市教育委員会会議規則の一部改正について

日程第6 議案第2号 逗子市指定重要文化財の指定について

日程第7 その他

- ・令和5年度二十歳を祝うずしの集いについて
- ・第71回逗子市内一周駅伝競走大会の結果について
- ・ビブリオバトルの開催について
- ・令和5年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果（公立学校）における逗子市の調査結果について
- ・令和5年度全国学力・学習調査【小学校・中学校】調査結果における逗子市の調査結果について

令和6年逗子市教育委員会1月定例会教育長報告事項

- 1 令和5年度湘三管内第3回教育長会議 1月16日（火）
- 2 令和5年度三浦半島地区教育長協議会総会 1月23日（火）

報告第1号

教育委員会職員の人事について

教育委員会職員の人事について緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則（昭和60年逗子市教育委員会規則第3号）第5条第1項第1号の規定に基づき、別紙のとおり教育長の専決により行ったので、同条第2項の規定に基づき報告する。

令和6年1月24日提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠

人事異動新旧対照表

(令和5年12月31日付)

退職

一般職任期付(短時間勤務職員)

職名	氏名	所属	備考
業務職員	中嶋 めぐみ	久木小学校	

報告第2号

逗子市文化財保護委員会の答申について

逗子市教育委員会から逗子市文化財保護委員会委員長に対して諮問した、仏涅槃図の逗子市指定重要文化財の指定について、別紙のとおり答申がありましたので報告いたします。

令和6年1月24日提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠

令和5年12月25日

逗子市教育委員会 殿

逗子市文化財保護委員会
委員長 薄井 和男



逗子市重要文化財の指定について（答申）

令和5年9月20日付け逗子市教育委員会諮問第1号で諮問のありました逗子市重要文化財の指定について、別紙のとおり答申します。

答 申 書

1 諮問を受けた文化財

(1) 名称及び員数

絹本著色 仏涅槃図 一幅

(2) 文化財の種類

有形文化財（絵画）

(3) 所在地

逗子市逗子3丁目1番17号

(4) 所有者

宗教法人 延命寺

2 指定に関する評価

涅槃図は釈迦の入滅を描いたもので、その忌日である2月15日の涅槃会には、宗派を超えて法要が営まれた。このため遺品は多く、数メートルの大幅から中、小型の作例のものまでであるが、本図は中幅の作例である。縦長の形態も中世の涅槃図に通例のものである。

図様も鎌倉期に定型化を見た、通例の図様にのっとり、中央には沙羅双樹の下での釈迦の涅槃の姿を描き、それを聞いて集まった菩薩や天部や明王などの尊像、さらにその周囲には諸侯、貴族や民衆、そして最下部に動物たちの姿を描く。

このように本図は中世前期の鎌倉、南北朝期の確固とした涅槃図の構図を堅持しながらも、細部の人物などに丸く柔らかい描線を用い、それは謹直で力強い中世前期の描線とは異なるものとなっている。また人物も崇厳な表情が緩和され、菩薩や天女などには世俗的な人間臭い表現が見られる。用いられた絹地も織りが粗く、これは目が摘んだ鎌倉時代の画絹とは大いに異なるものである。

本図の持つこのような特性には、中世前期の画風を残しながら、新時代の様式の芽生えが指摘できることから、その制作は室町期、15世紀前半にあたとみなされる。

涅槃図は保存が完好でないものが多く、本図も絹地のたわみが目立ち、彩色の剥落が目立つものの、後世の補絹などがほとんどなく、原像をそのままに伝えていることは貴重である。なお釈迦の体部の金泥彩色は後補のものだが、釈迦だけを彩色しなおし補修することは、涅槃図によく行われることであり、必ずしも本図の文化財的な価値を損じるものではない。

神奈川県下に中世までさかのぼる涅槃図は少なく、鎌倉・円覚寺本（鎌倉時代）、鎌倉・宝戒寺本（南北朝時代）、横浜・稱名寺本（南北朝時代）、横浜・宝生寺本（南北朝時代）、

小田原・総世寺本（室町時代）等が知られるのみであり、文化財的価値は極めて高く、市指定文化財にふさわしいものといえよう。

なお、本図額装裏面に貼付されている元の巻止紙及び旧来の箱板等の記載から、元は天正11年（1583年）、備後国鞆地藏院に村上助康（亮康、因島村上氏、鞆大可島城主）が施入したものとされ、近世の修補を経て、昭和8年（1933年）延命寺に寄せられたという伝来が判明することも貴重である。



絹本著色 仏涅槃図

議案第 1 号

逗子市教育委員会会議規則の一部改正について

逗子市教育委員会会議規則の一部を次のように改正する。

令和 6 年 1 月 24 日提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠

逗子市教育委員会会議規則の一部を改正する規則

逗子市教育委員会会議規則（昭和47年逗子市教育委員会規則第5号）の一部を次のように改正する。

第4条の次に次の1条を加える。

（情報通信機器を通して通話する方法による会議の開催）

第4条の2 教育長が必要があると認めたときは、情報通信機器を通して相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法によって、会議を開催することができる。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

逗子市教育委員会会議規則(昭和47年逗子市教育委員会規則第5号)新旧対照表【審査会後】

現行	改正後(案)
<p style="text-align: center;">逗子市教育委員会会議規則</p> <p style="text-align: right;">昭和47年4月1日</p> <p style="text-align: center;">逗子市教育委員会規則第5号</p> <p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条～第5条)</p> <p>第2章 会議(第6条～第12条)</p> <p>第3章 会議録(第13条～第16条)</p> <p>第4章 請願、陳情等(第17条～第21条)</p> <p>附則</p> <p style="padding-left: 2em;">第1章 総則</p> <p style="padding-left: 2em;">(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)第16条の規定に基づき、逗子市教育委員会(以下「委員会」という。)の会議の議事の運営について必要な事項を定める。</p> <p style="padding-left: 2em;">(会議の招集)</p> <p>第2条 会議の招集は、会議開催の場所及び日時を開会の日前3日までに各委員に通知して行う。ただし、緊急を要する場合は、この限りでない。</p> <p>2 委員は、前項の通知に指定された時刻までに、指定の場所に参集しなけれ</p>	<p style="text-align: center;">逗子市教育委員会会議規則</p> <p style="text-align: right;">昭和47年4月1日</p> <p style="text-align: center;">逗子市教育委員会規則第5号</p> <p>目次</p> <p>第1章 総則(第1条～第5条)</p> <p>第2章 会議(第6条～第12条)</p> <p>第3章 会議録(第13条～第16条)</p> <p>第4章 請願、陳情等(第17条～第21条)</p> <p>附則</p> <p style="padding-left: 2em;">第1章 総則</p> <p style="padding-left: 2em;">(趣旨)</p> <p>第1条 (略)</p> <p style="padding-left: 2em;">(会議の招集)</p> <p>第2条 (略)</p>

ばならない。

(欠席の届出)

第3条 委員は、会議に出席できないときは、開会時刻までに教育長にその旨を届け出なければならない。

(定例会及び臨時会)

第4条 会議は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は、毎月1回これを招集する。

3 臨時会は、教育長が必要があると認めたときに招集する。

(追加)

(年長の委員)

第5条 教育長及び法第13条第2項に規定する委員がともに事故があるとき又は欠けたときは、年長の委員がその職務を行う。

第2章 会議

(会議の順序)

第6条 会議は、おおむね次の順序で行う。

- (1) 開会
- (2) 会議録署名委員の決定
- (3) 前会会議録の承認

(欠席の届出)

第3条 (略)

(定例会及び臨時会)

第4条 (略)

(情報通信機器を通して通話する方法による会議の開催)

第4条の2 教育長が必要があると認めたときは、情報通信機器を通して相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法によって、会議を開催することができる。

(年長の委員)

第5条 (略)

第2章 会議

(会議の順序)

第6条 (略)

(4) 教育長の報告

(5) 議事

(6) その他

(7) 閉会

(動議の提出)

第7条 委員は、動議を提出することができる。

2 動議が提出されたときは、教育長は会議に諮って、これを議題としなければならない。

(発言)

第8条 会議において発言しようとする者は、教育長の許可を得て発言しなければならない。

2 2人以上が発言を求めたときは、教育長は、先に発言した者と認めた者を指名して発言させるものとする。

3 1議題の審議中は、他の議題について発言することができない。

(採決の時期)

第9条 教育長は、論旨が尽きたと認めたときは、会議に諮って採決しなければならない。

(採決の方法)

第10条 教育長は、順次各委員の賛否の意見を求めて採決する。

2 教育長は、必要があると認めるときは、会議に諮って、記名又は無記名の投票によって採決することができる。

(動議の提出)

第7条 (略)

(発言)

第8条 (略)

(採決の時期)

第9条 (略)

(採決の方法)

第10条 (略)

(修正の動議)

第11条 修正の動議は、原案に先立って可否を決する。

- 2 修正の動議が数個あるときは、原案に最も遠いものから順次採決する。
- 3 すべての修正の動議が否決されたときは、原案について採決する。

(傍聴)

第12条 会議は、これを公開する。ただし、秘密会を開く議決があったときは、この限りでない。

- 2 傍聴の手續、傍聴人の守るべき事項その他傍聴に関して必要な事項は、別に定める。

第3章 会議録

(会議録の作成)

第13条 会議の次第は、会議録に記載しなければならない。

- 2 会議録は、委員会事務局でこれを作成する。

(署名委員)

第14条 会議録には、教育長及び出席委員2名が署名しなければならない。

- 2 会議録に署名する委員は、教育長が会議に諮って定める。

(会議録記載事項)

第15条 会議録には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 開会及び閉会に関する事項
- (2) 出席委員の氏名
- (3) 委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

(修正の動議)

第11条 (略)

(傍聴)

第12条 (略)

第3章 会議録

(会議録の作成)

第13条 (略)

(署名委員)

第14条 (略)

(会議録記載事項)

第15条 (略)

- (4) 教育長の報告の要旨
- (5) 議題及び議事の概要
- (6) 議題となった動議を提出した者の氏名
- (7) 質問又は討論をした者の氏名及びその要旨
- (8) 議決事項
- (9) その他教育長又は会議において必要と認めた事項

(異議の決定)

第16条 会議録に記載した事項に関して委員中に異議があるときは、教育長は、これを会議に諮って決定する。

第4章 請願、陳情等

(請願)

第17条 委員会に対して請願をしようとする者は、請願の要旨、提出年月日並びに住所及び氏名(団体の場合は、その所在地、名称及び代表者の氏名)を日本語で記入した請願書(以下「請願書」という。)を、教育長を経て委員会に提出しなければならない。

2 教育長は、請願書を受理したときは、これを会議に提出しなければならない。

(陳情等)

第18条 委員会は、陳情その他のものであって、その内容が請願に適合するもの(以下「陳情等」という。)は、請願と同様に取り扱うことができる。

(説明の聴取)

(異議の決定)

第16条 (略)

第4章 請願、陳情等

(請願)

第17条 (略)

(陳情等)

第18条 (略)

(説明の聴取)

第19条 委員会は、必要があると認めるときは、請願又は陳情等をしようとする者(以下「請願者等」という。)及びその関係者の出席を求めて説明を聴取することができる。

(請願又は陳情等の発言)

第20条 請願者等は、委員会が許可したときは、会議において教育長が指定する時間を限度として、請願又は陳情等の事情を述べることができる。

2 前項の規定により請願又は陳情等の事情を述べようとする者は、あらかじめ文書により教育長に申し出なければならない。

(委任)

第21条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

1 この規則は、昭和47年4月1日から施行する。

2 逗子市教育委員会会議規則(昭和31年逗子市教育委員会規則第1号)は、廃止する。

第19条 (略)

(請願又は陳情等の発言)

第20条 (略)

(委任)

第21条 (略)

附 則

1 (略)

2 (略)

議案第 2 号

逗子市指定重要文化財の指定について

逗子市文化財保護条例（昭和43年逗子市条例第11号）第 3 条の規定に基づき、絹本著色仏涅槃図一幅を、逗子市指定重要文化財に指定する。

令和 6 年 1 月 24 日 提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠

(案)

指定理由書

名称	絹本著色仏涅槃図 一幅
種別	有形文化財（絵画）
時代	室町時代（15世紀）
法量	縦143.0センチメートル、横124.8センチメートル
所在地	逗子3丁目1番17号
所有者	宗教法人 延命寺

涅槃図は釈迦の入滅を描いたもので、その忌日である2月15日の涅槃会には、宗派を超えて法要が営まれた。このため遺品は多く、数メートルの大幅から中、小型の作例のものまでであるが、本図は中幅の作例である。縦長の形態も中世の涅槃図に通例のものである。

図様も鎌倉期に定型化を見た、通例の図様にのっとり、中央には沙羅双樹の下での釈迦の涅槃の姿を描き、それを聞いて集まった菩薩や天部や明王などの尊像、さらにその周囲には諸侯、貴族や民衆、そして最下部に動物たちの姿を描く。

このように本図は中世前期の鎌倉、南北朝期の確固とした涅槃図の構図を堅持しながらも、細部の人物などに丸く柔らかい描線を用い、それは謹直で力強い中世前期の描線とは異なるものとなっている。また人物も崇厳な表情が緩和され、菩薩や天女などには世俗的な人間臭い表現が見られる。用いられた絹地も織りが粗く、これは目が摘んだ鎌倉時代の画絹とは大いに異なるものである。

本図の持つこのような特性には、中世前期の画風を残しながら、新時代の様式の芽生えが指摘できることから、その制作は室町期、15世紀前半にあたとみなされる。

涅槃図は保存が完好でないものが多く、本図も絹地のたわみが目立ち、彩色の剥落が目立つものの、後世の補絹などがほとんどなく、原像をそのままに伝えていることは貴重である。なお釈迦の体部の金泥彩色は後補のものだが、釈迦だけを彩色しなおし補修することは、涅槃図によく行われることであり、必ずしも本図の文化財的な価値を損じるものではない。

神奈川県下に中世までさかのぼる涅槃図は少なく、鎌倉・円覚寺本（鎌倉時代）、鎌倉・宝戒寺本（南北朝時代）、横浜・稱名寺本（南北朝時代）、横浜・宝生寺本（南北朝時代）、小田原・総世寺本（室町時代）等が知られるのみであり、文化財的価値は極めて高い。

なお、本図の伝来についても、少しく事情が判明することは貴重である。本図は現在額装だが、裏面右端に貼付されている元の巻止紙及び旧来の箱板等に次のような記載がある。

〔元 巻止紙〕

「 再補 天保十一子二月日 □□□□代
唐画 涅槃像 一幅 天正十一未年五月吉日 前當國太守毛利輝元公御家臣當所御出張御
奉行村上右衛門尉助康寄□(進)之 」

(案)

〔箱蓋板 表〕

「涅槃像 廣嶋縣沼隈郡鞆町鞆地藏院 昭和八癸酉年二月十五日 贈呈 山川得仁
護持者 阪口本瑞 」

〔納入板一旧箱蓋板 表〕

「涅槃會 鶴淋山 十輪寺 地藏院 常在」

〔納入板一旧箱蓋板 裏〕

「再補 天保十一年子二月吉祥天 筆者年代不詳」

〔納入板一旧箱底板 内側〕

「天正十一年卯五月寄附者 毛利輝元公御家臣鞆御出張御奉行村上右衛門尉助康殿」

異筆や欠損により不詳な部分もあるが、元は天正11年（1583年）、備後国鞆地藏院に村上助康（亮康、因島村上氏、鞆大可島城主）が施入したものとされ、近世の修補を経て、昭和8年（1933年）延命寺に寄せられたという伝来が知られる。



第71回逗子市内一周駅伝競走大会 (地域対抗の部)

2024/1/14 午前9時 池子の森自然公園400mトラック発走 (参加チーム 11チーム) 天候: 晴れ

2024/1/14

順位 区間記録	チーム名	総合タイム	1区 4.4 Km		2区 3.4 Km		3区 4.5 Km		4区 4.2 Km		5区 5.2 Km	
			順位	タイム	順位	タイム	順位	タイム	順位	タイム	順位	タイム
1	池子A	1:16:40	小西 涼介 1 0:15:04	鈴木 涼介 1 0:27:46	大塚 結太 1 0:43:46	沼田 実菜 1 0:58:52	吉澤 ジェフェリー 1 1:16:40					
2	久木A	1:18:34	原田 航輔 2 0:15:12	駒場 遥歩 2 0:12:42	山本 新太郎 2 0:16:00	鈴木 健太 3 0:15:06	石塚 壮一郎 3 0:17:48					
3	小坪A	1:18:50	松田 雄太郎 2 0:15:12	小川 裕央 1 0:17:28	三橋 聡一郎 5 0:16:28	大久保 圭 1 0:13:25	三橋 泰士朗 1 0:16:01					
4	山の根	1:20:10	渡邊 凜生 7 0:17:02	京極 美穂 6 0:30:48	桑村 暖 5 0:47:10	青山 明裕 3 1:01:48	柳井 惣太 4 1:20:10					
5	沼間	1:21:25	堀江 海太 4 0:16:28	中山 誠 5 0:30:24	岩沢 僚 6 0:47:29	高司 一也 6 1:02:59	磯崎 浩平 5 1:21:25					
6	桜山	1:22:40	齋藤 優亮 5 0:16:39	南 晴太郎 4 0:30:04	河村 尚己 4 0:46:10	保坂 一道 5 1:02:40	成井 渚 6 1:22:40					
7	新宿	1:24:20	平井 竜一 11 0:18:44	大森 源太 11 0:33:51	浦川 貴史 10 0:52:13	杉原 跳 10 1:08:04	杉原 走 7 1:24:20					
8	小坪B	1:27:50	太田 凱 6 0:16:44	阿久澤 漣之介 3 0:29:56	山崎 博之 9 0:49:12	安田 和禎 8 1:06:45	大庭 伸一 8 1:27:50					
9	逗子	1:28:09	秋葉 雄樹 8 0:17:23	渡邊 昭人 8 0:32:07	高木 耕造 3 0:46:08	太田 将野 7 1:03:42	葉山 慶太 9 1:28:09					
10	池子B	1:30:07	山田 直 9 0:17:28	浅香 青 7 0:31:20	大河内 隼人 7 0:49:03	佐藤 帆矢 9 1:07:40	鈴木 保則 10 1:30:07					
11	久木B	1:31:14	關 智貴 10 0:18:14	隈部 美裕 10 0:33:42	佐野 真人 11 0:53:26	間宮 渚裕 11 1:08:36	山崎 正典 11 1:31:14					
			10 0:18:14	10 0:15:28	11 0:19:44	4 0:15:10	10 0:22:38					

上段: 累計成績 下段: 区間成績

第71回逗子市内一周駅伝競走大会 (団体対抗の部)

2024/1/14 午前9時 池子の森自然公園400mトラック発走 (参加チーム 25チーム) 天候: 晴れ

2024/1/14

順位 区間記録	チーム名	総合タイム	1区 4.4 Km		2区 3.4 Km		3区 4.5 Km		4区 4.2 Km		5区 5.2 Km		
			順位	タイム	順位	タイム	順位	タイム	順位	タイム	順位	タイム	
1	RUNNING ZUSHI A	1:10:48	2	0:13:32	2	0:25:29	2	0:39:29	2	0:53:52	1	1:10:48	
			2	0:13:32	5	0:11:57	1	0:14:00	1	0:14:23	1	0:16:56	
2	Beyond Zushi A	1:11:29	3	0:13:49	1	0:24:53	1	0:39:07	1	0:53:37	2	1:11:29	
			3	0:13:49	1	0:11:04	2	0:14:14	2	0:14:30	3	0:17:52	
3	Beyond Zushi B	1:14:26	4	0:14:47	3	0:26:06	3	0:41:24	3	0:55:58	3	1:14:26	
			4	0:14:47	3	0:11:19	4	0:15:18	3	0:14:34	7	0:18:28	
4	逗子開成A	1:15:15	5	0:14:55	4	0:26:32	4	0:42:13	4	0:56:48	4	1:15:15	
			5	0:14:55	4	0:11:37	6	0:15:41	4	0:14:35	6	0:18:27	
5	逗子開成D	1:16:46	6	0:15:03	5	0:27:01	6	0:43:10	5	0:58:51	5	1:16:46	
			6	0:15:03	6	0:11:58	8	0:16:09	6	0:15:41	4	0:17:55	
6	RUNNING ZUSHI B	1:18:03	Jonathan Willson		山田 仁	15	0:30:09	9	0:45:09	7	1:00:15	6	1:18:03
			13	0:16:35	17	0:13:34	3	0:15:00	5	0:15:06	2	0:17:48	
7	逗子開成B	1:18:11	7	0:15:21	7	0:27:29	7	0:44:03	6	0:59:47	7	1:18:11	
			7	0:15:21	7	0:12:08	10	0:16:34	7	0:15:44	5	0:18:24	
8	逗子市役所	1:21:10	今村 聡志		大竹 克樹	12	0:29:10	10	0:45:34	9	1:02:23	8	1:21:10
			11	0:16:09	14	0:13:01	9	0:16:24	11	0:16:49	10	0:18:47	
9	かぐのみ幼稚園走ろう会A	1:22:17	柴田 隆司		佐藤 歩	14	0:29:47	14	0:46:43	10	1:02:37	9	1:22:17
			16	0:17:04	11	0:12:43	12	0:16:56	8	0:15:54	12	0:19:40	
10	Beyond Zushi D	1:22:21	石田 雅行		石原 昇陽	9	0:27:50	8	0:45:00	12	1:03:05	10	1:22:21
			7	0:15:21	9	0:12:29	13	0:17:10	16	0:18:05	11	0:19:16	
11	Beyond Zushi C	1:23:16	竹花 玄		櫻田 想太郎	11	0:29:07	18	0:48:06	16	1:04:39	11	1:23:16
			15	0:16:44	8	0:12:23	22	0:18:59	9	0:16:33	8	0:18:37	
12	逗子開成E	1:23:33	楊 明浩		ニツ木 元隆	16	0:30:29	16	0:47:46	17	1:04:56	12	1:23:33
			17	0:17:12	15	0:13:17	14	0:17:17	14	0:17:10	8	0:18:37	
13	ハイランドA	1:24:00	谷垣 秀将		相馬 直哉	10	0:28:34	12	0:45:53	11	1:02:45	13	1:24:00
			9	0:15:53	10	0:12:41	15	0:17:19	12	0:16:52	18	0:21:15	
14	ずう	1:24:03	森下 舞也		山本 直	6	0:27:13	5	0:42:50	8	1:01:55	14	1:24:03
			1	0:13:22	18	0:13:51	5	0:15:37	25	0:19:05	19	0:22:08	
15	うみのごRUN A	1:24:58	大和田 千尋		川久保 智史	13	0:29:32	15	0:47:40	14	1:04:19	15	1:24:58
			14	0:16:42	13	0:12:50	17	0:18:08	10	0:16:39	13	0:20:39	
16	Zushi Local Athletes A	1:25:28	吉田 孝司		大橋 真	8	0:27:34	11	0:45:50	15	1:04:32	16	1:25:28
			12	0:16:18	2	0:11:16	18	0:18:16	22	0:18:42	15	0:20:56	
17	久木クラブ	1:26:11	中多 大介		向井 憶人	17	0:30:36	13	0:46:22	13	1:03:38	17	1:26:11
			23	0:17:49	12	0:12:47	7	0:15:46	15	0:17:16	20	0:22:33	
18	逗子開成C	1:27:26	平野 耀斎		中澤 孝太	19	0:31:07	17	0:47:51	18	1:06:25	18	1:27:26
			21	0:17:37	16	0:13:30	11	0:16:44	20	0:18:34	16	0:21:01	
19	Beyond Zushi E	1:31:38	澤藤 卓也		三浦 俊哉	25	0:33:52	23	0:51:35	19	1:08:43	19	1:31:38
			25	0:19:49	20	0:14:03	16	0:17:43	13	0:17:08	21	0:22:55	
20	かぐのみ幼稚園走ろう会C	1:32:00	平野 恭将		濱田 賢作	23	0:32:40	24	0:52:11	24	1:10:49	20	1:32:00
			24	0:17:55	24	0:14:45	24	0:19:31	21	0:18:38	17	0:21:11	
21	かぐのみ幼稚園走ろう会B	1:32:05	南 仁成		上田 洋平	21	0:31:36	21	0:50:32	20	1:08:50	21	1:32:05
			18	0:17:18	21	0:14:18	21	0:18:56	18	0:18:18	22	0:23:15	
22	Zushi Local Athletes B	1:32:17	高橋 省吾		丸山 僚	24	0:33:18	25	0:53:13	25	1:11:38	22	1:32:17
			22	0:17:38	25	0:15:40	25	0:19:55	19	0:18:25	13	0:20:39	
23	うみのごRUN B	1:32:26	壺崎 昌和		山ノ井 怜生	20	0:31:20	20	0:50:15	22	1:08:59	23	1:32:26
			18	0:17:18	19	0:14:02	20	0:18:55	23	0:18:44	24	0:23:27	
24	ハイランドB	1:32:38	森 和範		岩間 敦	22	0:32:16	22	0:51:08	23	1:09:15	24	1:32:38
			20	0:17:35	23	0:14:41	19	0:18:52	17	0:18:07	23	0:23:23	
25	Beyond Zushi F	1:32:58	吉川 つほみ		鈴木 晴香	18	0:30:38	19	0:49:54	21	1:08:58	25	1:32:58
			10	0:16:01	22	0:14:37	23	0:19:16	24	0:19:04	25	0:24:00	

上段:累計成績 下段:区間成績

2023(令和5)年度 全国学力・学習状況調査

逗子市の結果について

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査の対象

- 逗子市立小学校第6学年児童 421名
- 逗子市立中学校第3学年生徒 336名



(3) 調査の内容

①教科に関する調査（小学校：国語，算数 中学校：国語・数学・英語）

出題内容はそれぞれ次の（ア）と（イ）を一体的に出題。

- （ア）身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- （イ）知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

②質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。
- 本年度の主な調査項目は以下のとおり。

- ・挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- ・部活動に関する状況
- ・ICTを活用した学習状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・学習に対する興味・関心や授業の理解度等
- ・新型コロナウイルス感染症の影響

(4) 調査の方式 悉皆調査

(5) 調査日時 2023年（令和5年）4月18日（火）

(6) 調査結果の分析にあたって留意したこと

本調査の結果から見てとれることとして、次のような点に留意して分析を行った。

- ①実施教科が「国語」「算数・数学」「英語」の3教科であり、学習指導要領のすべてを網羅するものではないことから、児童生徒が身につけるべき学力の特定一部であること。
- ②年度により問題の質が異なるため、経年変化の状況のみから学力の向上・低下の傾向を容易に評価することは難しいこと。

(7) 調査結果(正答率)

(小学校)

教科	逗子市正答率	神奈川県正答率	全国正答率
国語	67%	66%	67.2%
算数	67%	63%	62.5%

(中学校)

教科	逗子市正答率	神奈川県正答率	全国正答率
国語	72%	70%	69.8%
数学	55%	52%	51.0%
英語	51%	50%	45.6%

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（小学校国語）

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

結果の概要	全体の正答率は67%と、全国の平均正答率とほぼ変わらなかった。 領域ごとの正答率も大きな差はない。 問題形式では、選択式は全国平均を多少上回り、記述式は多少下回る結果となった。
言葉の特徴や使い方に関する事項	○日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる問題では、全国正答率を多少上回っている。【3三】 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題（特に「期間」の書き取り）では、全国正答率を9.4ポイント下回っている。【1三(1)ウ】
情報の扱い方に関する事項	○原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題では、全国正答率を4.4ポイント上回っている。【1一】

<p>話すこと・聞くこと</p>	<p>○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえることができるかどうかをみる問題では、70%以上の正答率で全国正答率を上回っている。【3一（1）（2）】</p> <p>●目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題では、全国正答率よりも低く70%を下回っている。【3二】</p>
<p>書くこと</p>	<p>●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題では、全国正答率とほぼ同等だが、30%を下回っている。【1二】</p>
<p>読むこと</p>	<p>○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうかをみる問題では、全国正答率を上回り70%を超える正答率となっている。【2二】</p> <p>●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題では、全国正答率を4.9ポイント下回っている。【2四】</p>
<p>児童質問紙 国語に関連する質問 問43～51</p>	<p>「国語の勉強は好きですか」の質問に、62.2%の児童が肯定的に答えている。全国より、0.7%上回っている。また、「国語の授業の内容はよくわかりますか」の質問には、86.3%の児童が肯定的に答えている。さらに、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思うか」の質問には92.6%の児童が肯定的に答えている。しかし、「書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか」の質問には、66.5%の肯定的な答えであるところを見ると、役に立つことは分かっているが、伝え合う楽しさに気付いていなかったり、自分の表現に自信を持てなかったりするところは課題であると考えられる。</p>

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての逗子市としての取り組み

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて逗子市として取り組むこと(国語)

概要

知識技能の中でも、「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては、全国正答率を下回る傾向であり、昨年から引き続き、漢字を文中で正しく使うことに関して、特に下回っている傾向にある。文章全体の構成に着目して文章を整えたり、相手の読みやすさを考えて漢字を正しく書いたり、行の中心に注意して書くために、他者との関わりの中で語彙を増やしたり適切な言語を使ったり、文を読みあったり、何度も校正したりする活動に取り組む必要がある。一方、「情報の扱い方に関する事項」に関しては、全国正答率を上回る傾向であり、本調査で初めて取り上げられた問題である。今後も、原因と結果など情報と情報との関係を理解するために、ある事象がどのような原因によって起きたのかを把握したり明らかにしたりすることを大切にしながらの指導が継続的に必要である。

思考力、判断力、表現力に関しては、全国同様「B 書くこと」の正答率が30%下回っている。引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること等、意識的に取り組むことが大切である。

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

学年別漢字配当表に示されている漢字を、文章表現の中で読みやすさを考えて正しく書くことを意識しながら、指導を継続することが大切である。

【話すこと・聞くこと】

話を聞いて自分の考えをまとめる際には、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切である。インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動等、継続的に指導することが大切である。

【書くこと】

自分の考えが伝わるように書く際には、図表やグラフなどを用いるなどして、書き表し方を工夫することが大切である。図表やグラフなどを用いるのは、示すべきことが、図解したり、表形式やグラフ形式で示したりした方が分かりやすい場合である。観察や実験、調査の結果などを記述する際には、図表やグラフを用いることで、自分の考えを深めたり、相手にとってよく理解できるものにしたりすることが大切である。様々な場面で、自分の考えが伝わるように、書く指導を継続的にすることが大切である。

【読むこと】

文章を読んで自分の考えをまとめる際には、文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既存の知識などと結び付けて自分の考えを形成することが大切である。今回の問題では「C読むこと」の「考えの形成」に関する指導事項が取り上げられ、本調査で初めて取り上げられている。文章を読んで理解したことについて、既存の知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成できるよう、意識しながら指導を継続的にすることが大切である。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（算数）

調査結果の概要及び教科の課題等

<p>結果の概要</p>	<p>本市の平均正答率は67%であり、全国、神奈川県の前年調査の平均正答率を4～4.5%上回る結果であった。学習指導要領の領域全てにおいても、全国、神奈川の平均正答率を上回る結果であった。</p> <p>評価の観点においても、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国、神奈川県の前年調査の平均正答率を上回る結果であったが、知識・技能に比べ、思考・判断・表現は、全国、神奈川の傾向と同じく平均正答率が下がることに課題が見られる。</p> <p>問題形式では全ての形式において正答率が全国、神奈川県の前年調査の平均を上回った。中でも、選択式62.9%、記述式52.6%と全国平均を5%以上上回った。</p> <p>記述式問題別集計結果を見ると、ほとんどの問題において無回答率が全国、神奈川の平均値を下回る結果となった。無回答率が0%の問題もあり、問題に粘り強く取り組む姿があったことを見取ることができる。</p>
<p>(算数) 数と計算</p>	<p>○少数の加法や乗法を用いて、求め方と答え方を式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。(63.4%)【3(2)】</p> <p>○(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる。(55.8%)【3(4)】</p> <p>●該当なし</p>
<p>(算数) 図形</p>	<p>○図形領域全体でみると正答率は54.5%と全国平均を6.3%上回った。</p> <p>○正三角形の意味や性質について理解している。(38.7%)【2(3)】</p> <p>全問題中2番目に正答率の低い問題であったが、全国平均を13.8%上回った。</p> <p>○高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。(26.1%)【2(4)】</p> <p>全問題中最も正答率の低い問題であったが、全国平均を5.3%上回った。</p> <p>●該当なし</p>
<p>(算数) 変化と関係</p>	<p>○百分率で表された割合について理解している。(55.8%)【4(1)】</p> <p>●該当なし</p>
<p>(算数) データの活用</p>	<p>○示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。(61.5%)【4(3)】</p> <p>●該当なし</p>
<p>児童質問紙 算数に関する質問 問51～54 (算1・2)</p>	<p>○算数に関する質問すべてにおいて、「1あてはまる」と回答した児童が全国、神奈川県の前年調査の回答率を上回った。</p> <p>○「算数の勉強は好きですか」(41.4%)【51】</p> <p>○「算数の授業の内容はよく分かりますか」(53.6%)【53】</p> <p>○「解答時間は十分でしたか」(67.5%)【算2】</p> <p>●該当なし</p>

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての逗子市としての取り組み

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて逗子市として取り組むこと(算数)

知識・技能の問題についての正答率は71.2%であり全国平均より4%高い。このことから、知識・技能の習得が概ねできていることが分かる。思考力・判断力・表現力の問題については、全国平均を4.6%上回るものの正答率は61.1%と知識・技能の問題より低い正答率となった。また、今回の調査では「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述で解答する問題」【2(4)】が全国平均を5.3%上回ったものの、問題の正答率が26.1%と最も低かった。「三角形の面積=底辺×高さ÷2」という知識を用いて答えを導き出す問題だが、テープの幅を高さとすることに着目できない、高さは数字で表されるとの先入観からか、「このままでは比べられない」と誤答する児童が10.9%いた。算数科の目標である「数学的な見方、考え方」を働かせることができなかったと見取れる。学習した知識や概念を表面的な意味で理解し、なぜそうするのか分からないまま手順だけを身に付けていくことがないように、深い学びへとつなげていく必要がある。

学習者自身が、学習の振り返りをおこなえるよう、身に付けた知識・技能を活用して、自分の考えを論理的に順を追って説明したり、記述したりする学習を心がける。また、その際には、生活場面における事象と算数の内容を関連付けて考えたり、学習したことを用いて自分の考えを表現したりするなど、主体的に学習に取り組める課題や場の設定及びそのための支援について工夫することに取り組む。全ての子どもたちの可能性を引き出せるよう「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、児童一人ひとりが「学ぶ意欲」をもって学習に参加できるよう市として取り組んでいく。

【数と計算】

*計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができるようにする指導を充実させるためには、適用する数の範囲を広げていきながら統合的・発展的に考え、共通点に着目させ、ほかの数でも成り立つかどうか確かめることができるようにすることが大切である。また、見いだした性質について、その意味を考え、どの数でも当てはまるようにまとめるよう問い返すなど、一般的に表現しようとする態度を育てる。

【図形】

*図形の学習においては、図形についての見方や感覚を豊かにすることが大切である。単なる知識として図形の性質を指導するだけでなく、具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりする活動を通して、図形の性質や構成要素に着目して考察し、基本的な平面図形について理解できるようにする。

【変化と関係】

*伴って変わる二つの数量の間の変化の関係を、言葉、図、数、表、式、グラフなどを用いて表し、変化の様子や対応の規則性を読み取ることができるようにすることが大切である。また、日常生活の中で、伴って変わる二つの数量関係が成り立つ場面を課題に設定するなど、日常生活での問題解決に生かす活動を取り入れる。

【データの活用】

*日常生活において、目的に応じて、必要な資料を収集し、グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができるようにするとともに、複数の資料の特徴や傾向を関連付け、一つの資料からは判断することができない事柄についても判断することができるようにすることが大切である。また、統計的な問題解決活動を行う場面を設定し、その結論をレポートやポスターなどにまとめて発表する活動を通して、表現力を伸ばすことも重要である。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析（児童質問紙）

特徴的なことや課題と考えられること等

- 自分にはよいところがあると思いますかという質問に「よくある」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は86.6%で、全国、神奈川県の高割合。
- 人が困っているときには進んで助けていますかという質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は92.9%で、全国、神奈川県の高割合。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますかという質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は96.7%で全国、神奈川県の高割合。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますかという質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は79.7%で、全国、神奈川県の高割合。
生活を通して、自分と向き合ったり、努力したりすることで得られた成功体験や他者との関わりの中で、自己有用感を感じることができると捉えられる。
- 自分違う意見について考えるのは楽しいと思いますかという質問に「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」と回答した児童の割合は24.2%となっている。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますかという質問に「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と回答している児童の割合は、40.6%となっている。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての学校としての取組

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

- 逗子市立学校において推進している支援教育の充実を目指し、一次支援（いじめ・不登校などの未然防止の取り組み）について、学校がすべての児童・生徒にとって、安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」と「わかりやすい授業の工夫」に取り組むなど、より丁寧に行う。
- 道徳教育、キャリア教育など、活動を通して自分や他者と向き合い、様々な気づきを大切によりよく生活していくことや学習をしていくことについて考える機会をつくる。
- 個別指導やグループ別指導や児童・生徒の興味・関心等に応じた課題学習などにより、個々の学習に向かう意識を育むとともに、個々の学習や体験をつなぐ場を大切に協働的な学びを展開する。他者との学びによって自分の考えや活動が深められたり、広げられたりする経験を通して意見を交わす楽しさを味わうことができるようにする。
- 環境教育、防災・減災教育など逗子の自然や地域に触れることで見えてくる、課題を自分事としてとらえ、その解決に向けてできることを考え、実践できるよう取り組む。
- 地域で働く人との関わりを持ち、自分の生活とのつながりについて考えることで、課題意識を養う。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（中学校国語）

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>全体の正答率は72%と全国政党率と比較してもほぼ変わらない。領域ごとでは「B書くこと」69.5%と全国平均正答率を6.3%上回った。また、問題形式では「記述式」の正答率が全国平均正答率を4.8%上回った。</p>
<p>話すこと 聞くこと</p>	<p>○目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる問題では全国平均正答率を上回り90%を上回っている。【1一】</p>
<p>書くこと</p>	<p>○読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題、また、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる問題は、共に5.5%、7.4%と全国平均正答率を上回った。【3一・3四】</p>
<p>読むこと</p>	<p>○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題は、全国平均正答率を7.4%上回った。【4三】</p>
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる問題は全国平均とほぼ同様に80%を上回る正答率であった。【4一】</p> <p>●文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる問題では、全国平均とほぼ同様であるが、70%を下回っていた。</p>
<p>生徒質問紙 国語に関連する質問 問 43～51</p>	<p>○「国語の勉強は好きですか」という問いに対しては、肯定的な回答の割合が67.6%と、全国の数値を6.2%上回った。</p> <p>●「国語の勉強は大切だと思いますか」という問いに対しては、全国の数値を2.5%下回った。</p> <p>他にも「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いにあてはまる生徒の割合よりも、「国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか」の問いにあてはまる生徒の割合の方が低いことから、役立つことは分かっているが、現在の自分の話し方に自信を持っていない様子が伺え、課題であると考えられる。</p>

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての逗子市としての取り組み

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて逗子市として取り組むこと

概要

思考力判断力表現力の「書くこと」に関して、全国平均正答率を6.3%上回り、問題形式では「記述式」の全国平均正答率を4.8%上回っていることから、書いて表現することについて得意とする傾向にある。しかし、文脈に沿って感じを正しく書くことに関しては課題が残る。漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが大切であり、必要に応じて辞書を引くことを習慣づけることが有効である。端末を活用して文字を入力する際にも、漢字が持つ意味に留意して適切に選択する力を養うことが重要である。

平均正答率が最も低いのは「C 読むこと」66.5%となっている。同じ筆者による異なる文章、異なる筆者による主張が共通している文章、同一の話題で主張が異なる文章、同じ内容を扱った異なる新聞記事、立場の異なる読み手を想定した実用的な文章などを教材として取り上げる等工夫して指導することが大切である。

【話すこと、聞くこと】

聞いたことを基に自分の考えをまとめるには、何のためにどのような状況で話を聞いているのかを意識し、話の内容を正確に理解することが必要である。その際、必要に応じて記録したり質問したりしながら聞くことが重要になる。話し手に質問する際に、質問の適切な機会を捉えるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるように指導することが大切である。

【書くこと】

聞いたことを基に自分の考えをまとめるには、何のためにどのような状況で話を聞いているのかを意識し、話の内容を正確に理解することが必要である。その際、必要に応じて記録したり質問したりしながら聞くことが重要になる。話し手に質問する際に、質問の適切な機会を捉えるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるように指導することが大切である。

【読むこと】

聞いたことを基に自分の考えをまとめるには、何のためにどのような状況で話を聞いているのかを意識し、話の内容を正確に理解することが必要である。その際、必要に応じて記録したり質問したりしながら聞くことが重要になる。話し手に質問する際に、質問の適切な機会を捉えるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるように指導することが大切である。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

古典の世界に親しむためには、古典の文章を繰り返し音読して、その独特のリズムに生徒自らが気付くことが重要である。その際、小学校での学習を踏まえるとともに、歴史的仮名遣いなど現代の口語とは異なる古文特有のきまりについて、教材に即して指導することが大切である。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（数学）

調査結果の概要及び教科の課題等

(○全国平均+5% 良かった点や特徴ある点等 ●全国平均-5%課題や改善点等)

<p>結果の概要</p>	<p>本市の平均正答率は55%であり、全国、神奈川県の前年調査結果を3～4%上回る結果であった。学習指導要領の3領域において、全国、神奈川県の前年調査結果を上回る結果であった。」</p> <p>評価の観点においても、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国、神奈川県の前年調査結果を上回る結果であったが、知識・技能に比べ、思考・判断・表現は、全国、神奈川県の前年調査結果と同様に平均正答率が下がることに課題が見られる。</p> <p>問題形式では全ての形式において正答率が全国、神奈川県の前年調査結果を上回った。中でも、選択式は50.6%と全国平均を5%以上上回った。</p>
<p>(数学) 数と式</p>	<p>○「数と式」領域全体で見ると正答率は68.8%と全国平均を5.8%上回った。</p> <p>○自然数の意味を理解している。(54.7%)【1】</p> <p>○数と整式の乗法の計算ができる。(86.7%)【2】</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。(68.3%)【6(2)】</p> <p>○結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明することができる。(45.6%)【6(3)】</p> <p>●該当なし</p>
<p>(数学) 図形</p>	<p>○空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。(37.9%)【3】</p> <p>●該当なし</p>
<p>(数学) 関数</p>	<p>○該当なし</p> <p>●該当なし</p>
<p>(数学) データの活用</p>	<p>○四分位範囲の意味を理解している。(73.1%)【7(1)】</p> <p>●該当なし</p>
<p>生徒質問紙 算数に関する質問 問55～58 数(1・2)</p>	<p>○数学の勉強は好きですか(35.4%)【55】</p> <p>○解答時間は十分でしたか(47.6%)【数2】</p> <p>●数学の勉強は大切だと思いますか(43.4%)【56】</p> <p>●数学の授業の内容はよく分かりますか(28.3%)【57】</p> <p>●数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか(31.9%)【58】</p>

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての逗子市としての取り組み
調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて逗子市として取り組むこと(数学)

知識・技能の問題についての正答率は59.9%であり全国平均より4.2%高い。一方で、「累積度数の意味を理解している」【3】の正答率が50.6%、無回答率も12.4%と高くなっているなど基礎的な知識・技能の習得ができていない生徒も一定数いることも分かる。

思考力・判断力・表現力の問題については、全国平均を3.4%上回るものの正答率は45%と知識・技能の問題より低い正答率となった。

今回の調査では「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」【7(2)】、「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができる」【9(1)】の正答率がどちらも36.4%と最も低かった。筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することを苦手としていることが伺える。

基礎的な知識・技能の習得を図るとともに、習得した知識を活用して問題を解決したり、事柄や事実から問題を見いだしたりする学習をより一層充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する必要がある。そのためには、様々な事象を数学的に捉える、数学的に表現・処理する、解決過程を振り返り得られた結果の意味を考察するなどの活動を通して、数学を活用して事象を論理的に考察する力を養うように取り組む。

質問紙調査においては、「数学の勉強は大切だと思いますか」、【56】「数学の授業の内容はよく分かりますか」【57】、数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか【58】の3つの質問において、全国平均を5%以上下回るなど、数学を学ぶ意義や、数学の有用性について見いだせていない生徒が多くいることが分かった。全ての子どもたちの可能性を引き出せるよう「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、児童一人ひとりが「学ぶ意欲」をもって学習に参加できるよう市として取り組んでいく。

【数と式】

- * 文字を用いた式の中の文字のもつ意味について理解を図るために、文字にいろいろな数を代入することで変化する式の値の様子から式の意味を考察するなど、具体的な数を用いて表現し文字のもつ意味について考える。
- * 事柄が一般的に成り立つ理由を、筋道を立てて説明できるようにするために、成り立つと予想した事柄について、文字式や言葉を用いて解決するための見通しをもち、その見通しを基に根拠を明らかにして説明する活動を充実させる。

【図形】

- * 図形の学習においては、実際に図に表したり、作図したりするだけでなく、論理的に考察するとともに、考察したことについて筋道立てて説明することが大切である。また、その際には、自分が納得できるとともに他人を説得できると実感できるよう、生徒が見いだしたことや工夫したことなどを、数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合う活動を充実させる。

【関数】

- * 様々な問題を数学的に活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「使い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実させることが大切である。その際に、問題解決のために表した表、式、グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を充実させる。
- * 日常生活や社会の事象などの具体的な場面に関数を活用することができるよう、関数を用いて具体的な事象を捉え考察するとともに、その考察の過程や結果を表、式、グラフを用いて説明する活動を充実させる。

【データの活用】

- * 代表値を求めたりデータの分布の様子を読み取ったりする場面を設定し、その傾向を捉えて、データに基づいた判断や主張を批判的に考察することを通して、よりよい解決や結論を見いだすことができるようにする。

*日常生活や社会における不確定な事象に関する問題に対して、目的に応じてデータを収集し、ヒストグラムなどに整理し、そのデータの傾向を読み取り、それに基づいて判断し統計的に問題解決する活動を充実させる。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析（中学校英語）

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

結果の概要		全体の平均正答率は51%であり、全国（公立）平均と比較すると5.4%上回り、県（公立）平均と同程度のポイントであった。
学習指導要領の領域	全体	○「聞くこと」の平均正答率は65.5%であり、全国（公立）平均と比較すると7.1%上回り、県（公立）平均と同程度のポイントであった。 ○「書くこと」の平均正答率は30.0%であり、全国（公立）平均と比較すると6.6%上回り、県（公立）平均と同程度のポイントであった。
	聞くこと	○全6問のうち以下の4問では全国（公立）平均を5%以上上回り、その他2問は同程度のポイントであった。【1（1、3）、2、3】
	読むこと	○日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみることを出題の趣旨とする問題では、全国平均を11.6%上回る結果であった。【6】 ○日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみることを出題の趣旨とする問題では、全国平均を6.0%上回る結果であった。【7（2）】
	書くこと	○全5問のうち以下の4問では全国（公立）平均を5%以上上回り、その他1問は同程度のポイントであった。【8（2）、9（1）①②、10】
知識・技能		○全9問のうち以下の4問では全国（公立）平均を5%以上上回り、その他5問は同程度のポイントであった。【1（1、3）、9（1）①②】
思考・判断・表現		○全8問のうち以下の6問では全国（公立）平均を5%以上上回り、その他2問は同程度のポイントであった。【2、3、6、7（2）、8（2）、10】
生徒質問紙 英語に関連する質問		○以下の5問は「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国の割合を5%以上上回った。 ・英語の勉強は好きですか【59】 ・英語の勉強は大切だと思いますか【60】 ・英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか【62】 ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか【63】 ・1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか【69】 ●以下の2問は「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国の割合を5%以上下回り、かつ、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせても全国の割合を下回った。 ・1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか【68】

	<p>・ 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか【71】</p>
--	--

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての逗子市としての取り組み

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて逗子市として取り組むこと(英語)

概要

いずれの分類・区分においても平均は全国(公立)、県(公立)と同程度もしくは5%以上上回る結果であったが、正答率では学習指導要領の「(5)書くこと」や問題形式の「記述式」に課題がみられる。高い正答率がみられる領域の指導をさらに充実させつつ、読んだことを基に自分の考えとその理由を書く指導や、言語の働きを理解し、場面や状況に応じて表現を使い分ける指導を充実させること等が求められる。

【聞くこと】

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取るためには、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報かを判断した上で聞き取ることが重要である。

- ・学校行事における係分担の説明や持ち物等の連絡、天気予報、交通情報などを聞き、自分が必要とする情報を聞き取る活動
- ・友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞き、その内容を把握し、適切に応じる活動

言語活動を行うに当たっては、自分の置かれた状況を把握できているかどうかと、何を聞き取ればよいかを理解しているかどうかを確認することが大切である。その上で、それらに関連する語句や表現に着目して、必要な情報を聞き取ることができるよう指導することが求められる。

【読むこと】

情報を正確に読み取るためには、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けておくことが重要である。

また、説明文を読んで、概要を捉えるためには、段落内の文と文との関係を読み取りながら、各段落の主な内容を捉えることが重要である。指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・短い説明やエッセイ、物語などの文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容などを把握したりする活動
- ・学校生活を紹介している短い文章を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめたりする活動

なお、英文を読んで概要を捉える際には、説明文や物語など読んでいる題材に応じた指導を心掛けることが大切である。例えば、説明文の場合には、各段落の主な内容を集めたものを概要として捉えることが考えられるが、物語の場合には、時間の流れに沿ったあらすじを概要として捉えることが考えられる。このように、読んでいる英文の題材に応じて様々な概要の捉え方を指導することが求められる。

【書くこと】

読んだことを基に自分の考えとその理由を書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現することが重要である。指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- ・教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や、新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動
- ・他教科等でも扱われる自然環境、世界情勢、科学技術、平和などの話題に関して読んだ内容を踏まえて、内容に関する感想、賛否やその理由などを書く活動

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析（生徒質問紙）

特徴的なことや課題と考えられること等

- 自分には、よいところがあると思いますかという質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は86.7%で、全国、神奈川県の高割合。
- 将来の夢や目標を持っていますかという質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は67.2%で、全国、神奈川県の高割合。
- 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたかという質問に「ほぼ毎日」「週3日以上」と回答した生徒の割合は64%で、全国、神奈川県の高割合。
- 学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますかという質問に「役に立つと思う」「どちらかといえば役に立つと思う」と回答した生徒の割合は95%で、全国、神奈川県の高割合。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますかという質問に「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した生徒の割合は6.2%で、全国、神奈川県の高割合。
- 学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますかという質問に「10分より少ない」「全くしない」と回答した生徒の割合は49%で、全国、神奈川県の高割合。

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けての学校としての取組

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

- 逗子市立学校において推進している支援教育の充実を目指し、一次支援（いじめ・不登校などの未然防止の取り組み）について、学校がすべての児童・生徒にとって、安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」としてお互いを認め合う学級づくり、援助的・親和的な学級づくりなど、様々な活動を通して取り組む。
- いじめは、人間として決して許されない行為であるということを、すべての児童・生徒・保護者・教職員学校関係者、その他子どもに関わる全ての大人が共有し、いじめの根絶に取り組む。
- 生徒が各教科や各授業時間のねらいや目標を意識し、課題に取り組むことができるよう学習活動を行い、どんな手立て効果的であるかを意識し、ICT機器の活用を検討することや調べ学習等においてICT機器の活用のメリット・デメリットを生徒自身が理解し取捨選択できるようにする。
- 学校図書館の活用を推進するとともに、新たな本との出会いを促せるよう様々なネットワークを活用し、読書や活字に親しむ機会をつくる。